

平成28年度

第2回 学校評議員会の実施報告書

岐阜県立飛驒古城特別支援学校

校長 船渡千賀子

所在地 飛驒市古川町片原町8番127 TEL 0577-73-3600

1 会議の名称 岐阜県立飛驒古城特別支援学校評議員会

2 会議の構成 委員 (五十音順・敬称略)

紺野 尚美	P T A 代表
中屋 正利	地域の方代表
藤田 計人	飛驒慈光会古城山ゆり園園長
松井 瑛子	地域の方代表
山田 育夫	地域の方代表

飛驒古城特別支援学校

船渡 千賀子	校長
鹿嶋 成美	教頭
中野 一博	事務長
中井 隆	小中部主事
石原 元子	教務主任
清水 学	進路指導主事 (作業主任)

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 日時：平成28年11月26日(土)午後2時20分～3時20分
場所：飛驒古城特別支援学校 音楽室
出席者：委員5人 学校職員6人

5 会議の概要 (1) 校長挨拶
(2) 学校祭について
(3) 自己評価アンケートについて
(4) 今年度の取組と、来年度への課題について
・ 地域との連携推進について
・ 平成29年度児童生徒数及び学級数について
・ 卒業後の進路について

(5) その他

6 会議の内容

○校長挨拶（略）

○学校祭について

意見1 開校時より参観してきたが、毎年工夫がされている。かなり練習してきたと思われる。楽しそうに取り組んでおり、感動した。

意見2 初めて参観したが、堂々と発表していた。

意見3 一生懸命取り組んでおり、感動した。

意見4 小学部、中学部、高等部と段階をおって、子どもたちの成長が感じられた。特に、高等部の発表には誇りを感じた。多くの人に知ってもらえてよかった。

意見5 子どもの成長を感じとることができよかった。

○自己評価アンケートについて（略）

○今年度の取組と、来年度への課題について

意見1 学校における具体的な取組が見えてこないため、アンケートにおいて「わからない」という回答がどうしても多くなる。情報提供や設問内容の工夫があるとよいと思われる。

意見2 来年度に向け、7月26日の相模原市での事件を受け、児童生徒の安全を最優先とした取組を行ってほしい。

意見3 不審者対応だけでなく、地震や火災などの対応について学校としてのマニュアルの整備とそれに沿った対応ももちろん大切であるが、地域とのつながりの中で守られる部分が大いと考ええる。当校の命を守る訓練に地域の方が参加するということも考えていけるとよい。

意見4 地区として市長に避難所の充実を要望している。備蓄品などの準備状況に差があるように感じる。状況に関する情報を収集することも重要である。

意見5 進路の状況について、これまでの卒業生の追跡調査については、卒業後3年間は支援を行っている聞き安心した。このような取組を大切にしていってほしい。

○その他

特になし

○まとめ

- ・学校祭参観を含め、早朝よりありがとうございました。いただいた貴重なご意見を今後の取組に生かしていきたいと考えます。
- ・地域に支えられ、地域の中で育っていくという当校の良さを継続させていかなければならないと考えます。1年のまとめとして行っている写真展について、今年度は神岡町でも同時開催することを考えています。地域の方と共にある当校の姿を感謝の気持ちも込めてご覧いただければと思っています。